

【事務事業調査】

事務事業名	高齢者の居場所づくり事業		予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
担当部署	健康福祉課	担当 サブリーダー	社会福祉担当 吉葉恵子	事業の分類 新規事業

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	高齢者の居場所といえばゲートボール場等といった特定の人や場所に限定されている。お茶を飲みながらの情報交換や悩み相談の場がない地域が、気軽に集まれる居場所をつくり、高齢者の生きがいを見出ししていく。また、そこには子育て中の方や子どもたちが遊びに来るといった場所ともすることにより、子育ての知識の伝承や逆に自分の孫や子どもたちとも接し方がわからないといった声が聞かれる中で、地域の交流をかねたふれあいの場所としていく。 行政は、高齢者の居場所をつくる働きかけを行い、生きがい支援となるようシルバー大学の卒業生や老人クラブ会員も交えながら、情報交換を行い、地域に貢献できる取り組みを関係課・関係機関とともに検討していく。	高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの場が充実し、今までつながりなかった人たちを結びつけることになり、地域活動の場ともなる。高齢者の居場所作りだけでなく、地域のつどいの場ともなる。
実績	町内には、公民館等を活用した老人クラブの居場所はあるが、子どもや成年の各層を交えた地域交流が出来る地域の居場所は無い。平成20年度に社会福祉協議会で策定した「高根沢町地域福祉活動計画」で、主要事業としてあげられている「地域の寄り合い(サロン)づくり事業」がまさにこの事業の趣旨に合った事業であることから、この「寄り合いづくり事業」の推進のため、国庫補助(セーフティネット支援対策事業費補助、平成21・22年度の2か年事業)を申請しました。	事業の具現化のためには、地域のマンパワーの活用が重要であることから、平成21年度から地域づくりのコーディネーターとして専任の担当者を配置することとしました。地域内の各層とのつながりを作って行っていくことやボランティアを発掘しそれらを活動のメニューにしていくこと、さらに行政との緊き役としての調整、周知等の活動を進めることとしました。

活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
高齢者の居場所	1箇所	0箇所	平成21年度から、中学校区等の小地域にそれぞれモデル地区を選定し、重点的に地域活動を展開していきます。

事業費(計画)

番号	細 節	金 額
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
		0

事業費(当初予算)

番号	細 節	金 額
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
		0

事業費(実績)

番号	細 節	金 額	特 記 事 項
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		0	

事業経費

		計 画	実 績	特 記 事 項
予 算	当初予算額		0	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		0	
決 算	決算額		0	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計		0	0
	差引(一般財源)		0	0